

# News Release

2021年9月7日

## 2021 日本パッケージングコンテスト 「経済産業大臣賞」「テクニカル包装賞」をダブル受賞

株式会社日立物流は、公益社団法人 日本包装技術協会主催「2021 日本パッケージングコンテスト」において、当社の「大型装置の国内輸送用梱包材開発」が経済産業大臣賞を、「洗濯機下部の組トレイ改善:円弧(大 R)による辺の湾曲化」がテクニカル包装賞をそれぞれ受賞しましたので、お知らせします。

なお、「経済産業大臣賞」は本コンテストの最優秀作品に授与される賞であり、保護性や機能性等、多くの包装に求められる要件を満たし、かつ経済性や環境にも配慮された総合的に最も優れた作品であると評価されたものです。

### 1. 大型装置の国内輸送用梱包材開発:「経済産業大臣賞(ジャパンスター賞)」受賞

従来は個々にラッシングベルトで直接荷台に固定していたため、作業工数が掛かり、余剰なスペースも生じて積載率が悪化していました。これらの課題を解決するため、製品を両側面から製品宛部に緩衝材を取り付けた合板で挟み込み、ストレッチフィルムで固定する専用梱包材を開発しました。結果、ラッシングベルトで個々に固定する作業がなくなり、従来比で作業工数は 30%削減、積載率は 70%向上しました。輸送時に製品が受ける衝撃値も 20%削減し、破損リスクも低減しました。また、積載率が向上したことで、二酸化炭素排出量を従来比で 43%削減、使用する緩衝材をリターナブル運用が可能な仕様としたことで、環境負荷の低減にも貢献しています。

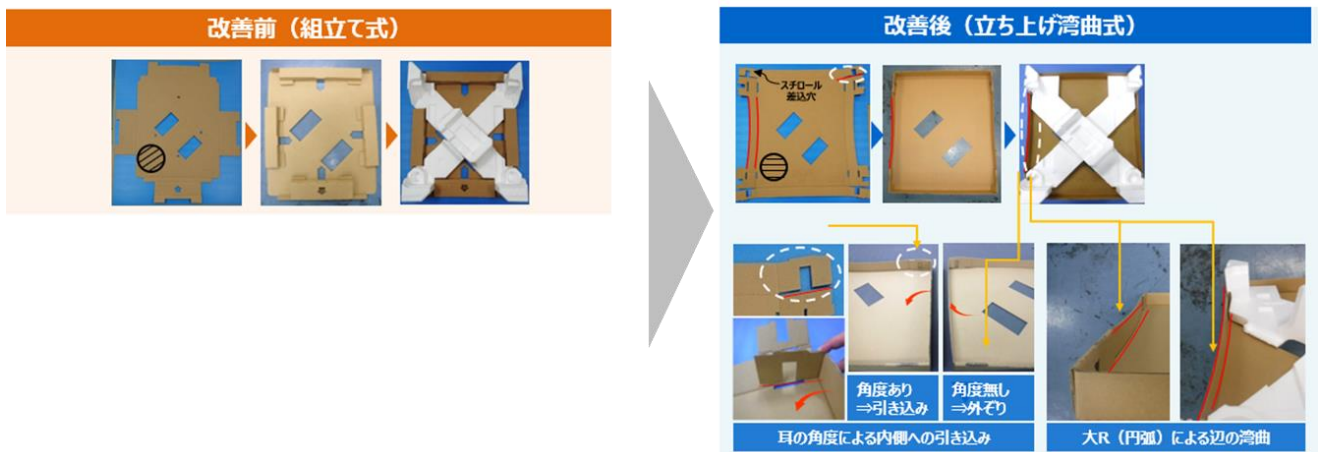


# News Release

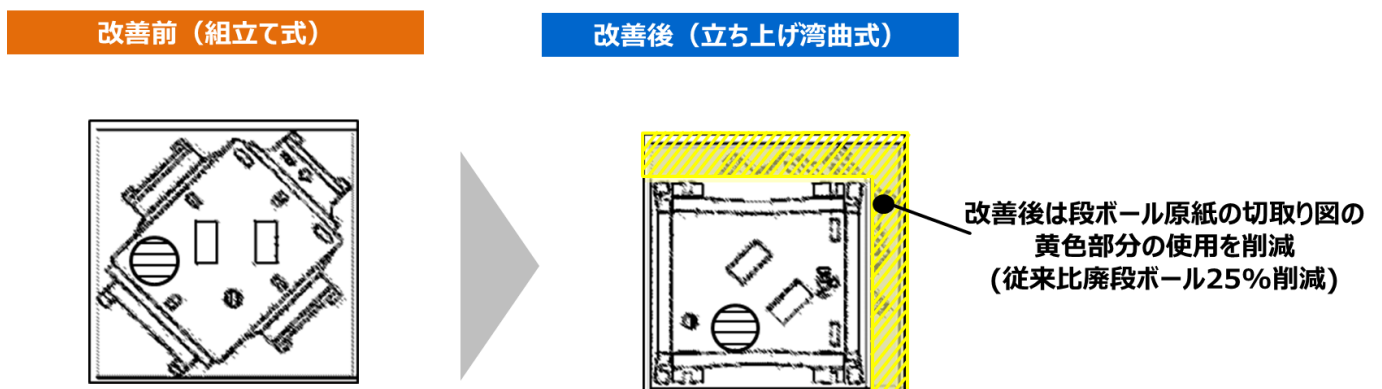
## 2. 洗濯機下部の組トレイ改善:円弧(大 R)による辺の湾曲化:「テクニカル包装賞」受賞

これまで洗濯機用包装の下部トレイは、組み立て工数に時間を要していました。新型洗濯機の包装開発にあたり、トレイの構造を組み立て式から立ち上げ式に改善変更することによる作業工数削減を図りましたが、罫線(※)を直線とすると立ち上げた部位が外側に反発し、トレイが変形することで外箱を被せにくくなる現象が生じていました。そこで、罫線を内側に湾曲する円弧状とし、トレイ四隅の耳部分に角度を持たせることで、立ち上がり部分をより内側に引き込む力を持たせました。この結果、剛性を保ちつつ、外側への反発を抑え、さらに、高密度で薄い段ボールを使用することで、コンベア輸送時に潰れにくい仕様としました。段ボール原紙からの切り出し方を変更することで材料を無駄なく使えるようにしました。その結果、従来比で作業工数は 20%削減し、材料費も 20%低減しました。また、廃段ボールは 25%削減し環境に配慮した包装を実現しました。

※罫線: ダンボール板を箱などの立体的な形状に組み立てる際にきれいに折り曲がるように、対象の位置に加工する折線



改善前・改善後の比較



段ボール原紙切出し方法の改善比較

# News Release

当社グループは、最も選ばれるソリューションプロバイダをめざし、ビジネスコンセプト『LOGISTEED』のもと、事業・業界を超えた協創領域の拡大を図り、新たなイノベーションを実現していきます。

**【ご参考:関連 Web サイト】****■ 当社 包装ソリューション**

<https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/solution/packaging/>

以 上

**【お問い合わせ先】**

<担当窓口> (株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部

ロジスティクステクノロジー部 テクニカルセンタグループ

TEL:03-6263-2832

<本リリース内容> (株)日立物流 広報部

TEL:03-6263-2803